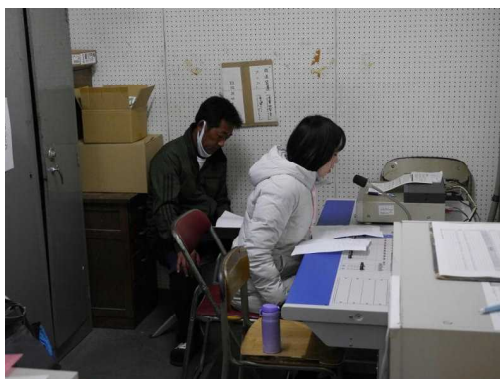


人権講話が開催されました。

12月14日(月)のアセンブリで特定非営利活動法人「びすた〜り」による人権講話が開催されました。「新型コロナウイルスから学ぶ多様性とインクルージョンの考え方のヒント」のテーマで、2人の講師は、自らのエピソードをまじえながら、コロナ差別と障がい者差別の共通性(異質なものを排除するメンタリティ)や多様性をお互いに認め合うことの重要性を話されました。



体育館に全校生徒を集めるのを避け、放送による講話

「障がい者への差別・偏見とコロナウイルス感染者への差別・偏見が同じであるということにはっとさせられました。健常者である私でも、コロナにかかれば差別対象になりえるんだと気づきました。

障がい者への偏見を捨てろとよく言われる中、正直、私は偏見を捨てきれません。講話で「誰でも偏見を持っている」「『無理』と思う人でも、存在をうけいれることが多様性」と話されてただけで、少し楽になりました。皆、自分と一緒にんだと感じられました。

様々な立場の人に、寛大さをもって接することのできる人間になりたいです。」

(2年生)